

【教育家庭新聞社 セミナー】

ICT整備とオンラン授業実現のポイント リモート授業の構築と実際

Session 2

教員間の連携も密に 毎日6時間リモート授業

2020.05.21 学校法人佐藤栄学園 さとえ学園小学校



1

本日の流れ

ICT整備の評価基準？：1日6時間のリモート授業の実現

- 0) はじめに【山中】
- 1) 管理職の立場から【津田】
- 2) 教員間の連携：【山口】
- 3) 1年生の様子：【須田】
- 4) 教科のリモート授業（国語）【鈴木】
- 5) 教科のリモート授業（社会）【橋本】
- 6) 実技系のリモート授業【浅田】
- 7) 子どもたちをつなぐ手だて【小出】
- 8) 子どもたち自ら動く【工藤】
- 9) おわりに【山中】

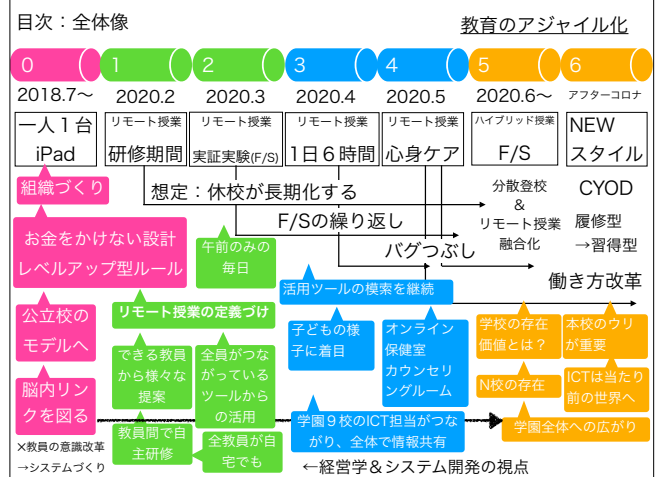
2

はじめに

カリキュラムマネージャー 山中 昭岳

学校法人佐藤栄学園 さとえ学園小学校

3



4

<大切にしていること>

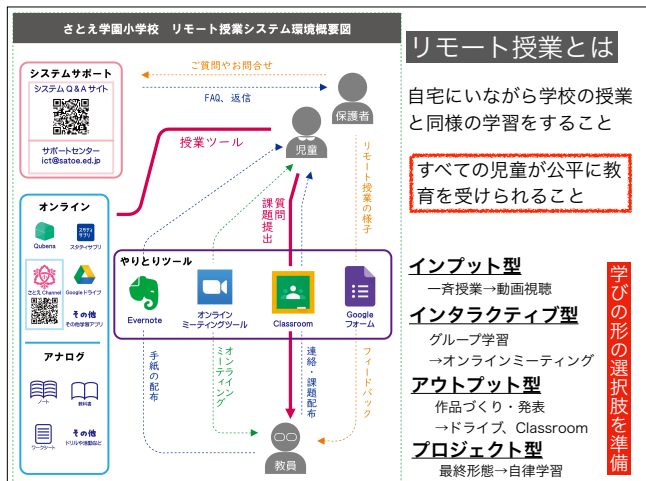
「すばやい」という意味の英単語で、仕様や設計の変更があることを前提に開発を進めていき、徐々にすり合わせや検証を重ねていくというアプローチのソフトウェア開発手法。

アジャイル化

～平等ではなく、公平を保つ～

- 先を想定する：中期、長期目標を設定する
- スピード重視：完璧をめざさず 最低限からスタートし、できる一歩から始めて修正していく
- 学びつづける：多分野の視点を取り入れる（経営学、システム開発 等）
- チームづくり：主体的に動く学校へ

5



7

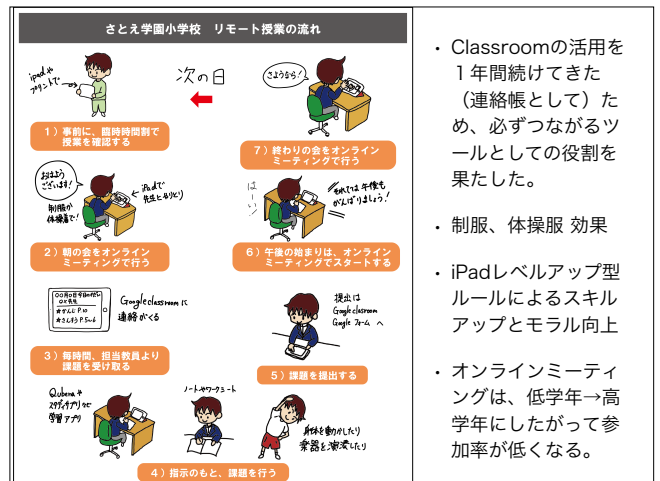
リモート授業とは

自宅で学校と同様の内容の学習ができる

オンラインでの対面のやりとりが必須ではない。
全教科毎時間、その時間内にできる課題を設定し、それらの課題を達成することで授業を受けたことにしている。

※平等ではなく、公平を保つ

6



8

この時間割は秋学期です。大切に活用してください。

休校中の時間割

さとえ学園小学校 4年1組

時刻	月	火	水	木	金
8:30-9:30	1 国語	2 国語	3 国語	4 国語	5 国語
9:30-10:20	2 算数	3 算数	4 算数	5 算数	6 算数
10:30-11:15	3 体育	4 音楽	5 体育	6 音楽	7 体育
11:20-12:00	4 読書	5 道徳	6 英語	7 英語	8 特活
13:00-13:40	5 社会	6 書写	7 社会	8 総合	9 社会
13:50-14:30	6 理科	7 総合	8 理科	9 園工	10 理科

※各教科の授業はZoomで実施されています。授業はZoomで受けとめます。
算数教科担任教員 Zoom ID
はくまうり(国語) 44444444 (2) はくまうり(算数) 44444444 (2)
科ん大郎 (6) 21111111 (1) 21222222 (1) 21222222 (1)

第3フェーズ

リモート授業の可能性と課題を洗い出し、次のフェーズへ

1～6年生で実施

一人1台 **個人持ちiPad**
※1年生：遅れてスタート

休校期間中（～5/6）

1日6時間授業を実施
担当教員のZoom ID

毎時間、課題の配信と提出

課題の提出をもって履修とする
朝8時配信→提出は翌日8時まで

9

教務の立場から

これまでの経緯・なぜできたのか・気をつけていること

さとえ学園小学校 教務 津田 桂

11

なぜできたのか？

振り返ってみると・・・

さとえ学園小学校の 特徴

前提 私立小学校

- 授業料をいただいている
- 授業料に見合った教育を公平に提供する。
- 提供する教育への満足度を高める。
- 児童募集をして児童を集めなくてはならない。

危機感 急いで導入・・・人を集めなければ・・・学びを止めるな・・・ など

保護者満足度を高める → 調査 → 新しいことにチャレンジ

ボトムアップ型 → 課題の共有 → 現場の先生方のアイデア → 校長・教頭のリーダーシップ

想定 → 対応 → 突破

13

オンライン授業実施に際して・・・

記録をためること、足跡を残すことをお願いした。
子どもたち・先生方の実施した授業が無駄にならないように。
今後は、評価をどのようにしていくかを相談。

課題の提 classroomやエバーノートなどで課題を必ず提出させ、保存しておく。

授業時数

授業記録

15

ICT整備の評価基準？！

具体的な事例をお伝えします！！

- 1) 管理職の立場から【津田】
- 2) 教員間の連携：【山口】
- 3) 1年生の様子：【須田】
- 4) 教科のリモート授業（国語）【鈴木】
- 5) 教科のリモート授業（社会）【橋本】
- 6) 実技系のリモート授業【浅田】
- 7) 子どもたちをつなぐ手だて【小出】
- 8) 子どもたち自ら動く【工藤】

10

これまでの経緯

導入から活用・今後の予定

2016以前 ICTとは無縁の学校

2016 (平成28年～) ICT教育の必要性 → 準備開始から導入まで 約2年間

2017 1人1台導入準備

2018.7～ 1人1台iPad導入 → 活用法研修・実践 スキルの習得 約1年半

2019 通常授業での活用

2020 新型コロナウイルス拡大に伴うリモート授業

2021.4～ CYODによる1人1台iPad

12

気をつけたこと

オンライン授業開始～実施中

- 顔が見えないからその場にいないからこそ、想像することは大事だった。

(各家庭の学習環境・各家庭のICT環境・保護者の協力をもらえるか・オンラインに参加できない子への対応・服装は？時間割は？etc)

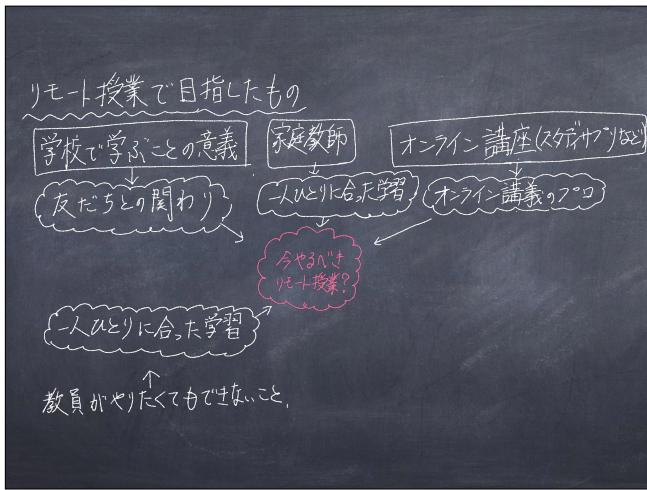
- 子どもたちの声や、先生方の声、保護者の意見を聞きながらよりよいやり方を話し合う。

(3月の試験実施・4月13日～の実践・5月からの実施方法・6月～)

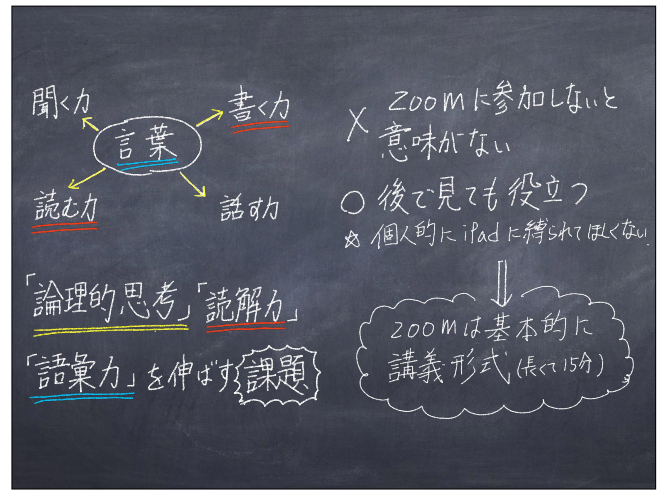
14

国語リモート授業について

16



17

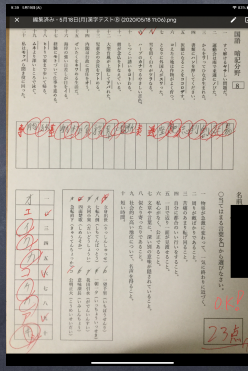


18

語彙力 … 漢字テスト

平常授業と同じように実施

iPadなら丸つけして即返却が可能

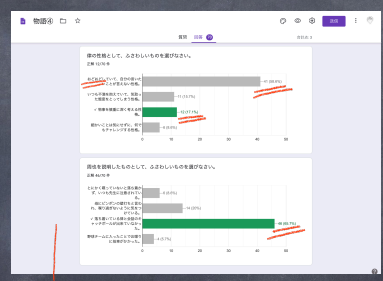


19

読解力

課題 → 子どもの傾向

教科書を主体として、課題から子どもの傾向を探る



↓

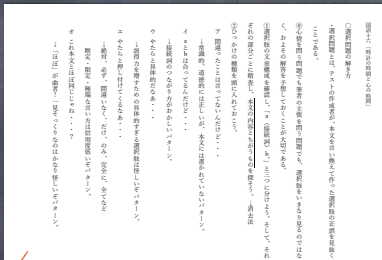
- 選択肢の問題に慣れていない?
- 言葉の意味を何となくで捉えている?

20

講義

全体の傾向を見つ、課題を設定し学習を進める。

※ オンライン講座とのちがい



↓

全体の傾向から優先度の高いものから対策

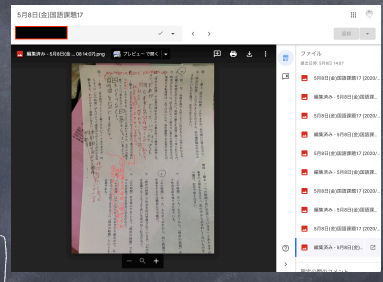
21

論理的思考力

どこでつまっているかは一人ひとり違う

↓ 次の課題 全体へ還元

ZOOMでの質問 classroomでの個別やりとり



22

問題点

- 圧倒的に「話す」が少なくなる。(脱線から深まることも減るが要点は伝わりやすい)
- 反だちとの関わりも少ない。(受験生だから出ている)
- 課題の取り組みに個人差がある。(通常でもあるが、こちらからの働きかけに限界がある)
- 教員側が常に業務に縛られる
 - 夜中12時に提出の通知が来たこと
 - 1コマの授業準備に通常の5~6倍の時間がかかる...

※ 学校での対面授業には及ばないが、狙いをしほれば使えるものか!

23

社会科

リモート授業について

さとう学園小学校 社会科 橋本和幸

24

リモート授業の流れ

4年生

- ※事前にワークシート配布済み
- ①ZOOMで教員の説明を受ける②各自ワークシートに取り組む
- ③ZOOMで教員の説明を聞く
自分の意見を発表する

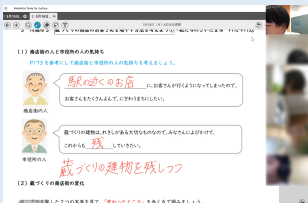
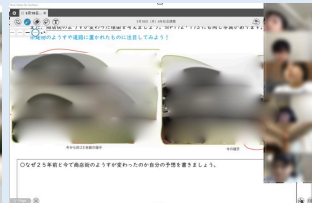
6年生

- ①授業動画を観る
- ②Googleフォームでテストを受ける

25

4年生リモート授業の様子②

- ②再びZOOMにつなぎ、リモート授業を受ける (20分間)
- ※ZOOMに参加できない子は教員が作成した解説動画を観る

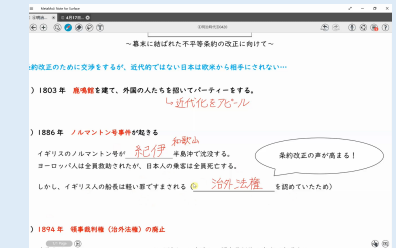
教員の説明を聞いて答え合わせをしている場面	自分の意見を発表する場面
	

動作環境：WindowsPC・metamojinoteアプリ

27


6年生リモート授業の様子①

- ①教員が作成した授業動画を観る (20分程度)
- ※質問がある場合は教員のZOOMに参加し、個別に質問する。



WindowsPCで画面収録アプリを使い、授業動画を撮影する

授業動画はGoogleDriveや限定公開サイトに配信



WindowsPCで画面収録アプリを使い、授業動画を撮影する

授業動画はGoogleDriveや限定公開サイトに配信

29

6年生リモート授業の様子③

- ③Googleフォームで答えたテストは自動的に採点される



・採点結果から得点傾向を分析する

・アンケートも同時に送っているの感想や意見を参考にする


→今後の授業動画作成に活かしていく

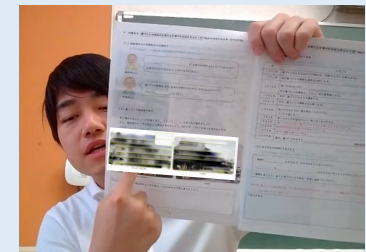


31

4年生リモート授業の様子①

- ①本日の内容についての説明をZOOMで聞き、各自が課題に取り組む (20分間)





26

4年生リモート授業の様子③

- ③取り組んだワークシートをGoogleクラスルームに提出する。



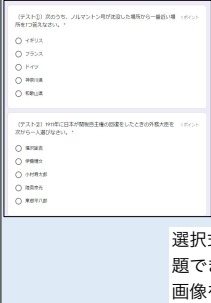


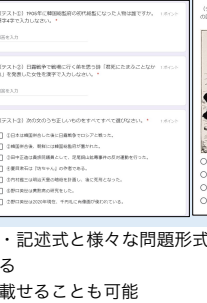
提出されたものを教員が確認する

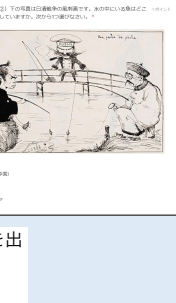
28

6年生リモート授業の様子②

- ②Googleフォームで作ったテストに取り組む







選択式・記述式と様々な問題形式を出題できる
画像を載せることも可能

30

社会科のリモート授業について (まとめ)

- ①ZOOMでのリモート授業について
 - ZOOMの様々な機能を活用することで、学校での対面授業と同じようにスムーズに取り組むことができた。
- ②授業動画の配信について
 - 学年・発達段階など、子どもたちに合わせた動画の作成が必要
 - スタディサプリ・NHK for schoolとの差別化・組み合わせ

32

リモート授業を実際にやってみて...

最初は大変だったが、子どもたちも教員も慣れてくると対面授業とほぼ同じように取り組むことができる。

リモート授業は

○子どもの実態を把握すること

○まずは試行錯誤しながらでもやってみることに

が大切！と感じました

33

おわりに

カリキュラムマネージャー 山中 昭岳

学校法人佐藤栄学園 さとえ学園小学校

35

1人1台iPad

公立校のモデルへ

0 2018.7~
一人1台 iPad

- ・2016.4 専門部会 (ICT教育) 設置
- ・2016.1学期 端末検討 (Chromebook, Windowsタブレット、iPadを検証)
- ・2016.1学期 職員研修スタート
- ・2016.2学期~ 多数の企業と面会、打ち合わせ等
- ・2016.3学期 実証授業 システムの検討

37

真の環境整備とは...

~子どもたちの運用を指導する~

今、過渡期だからこそ必要 (もう少ししたらいらなくなる!)

39

子どもたちをつなぐ手だて

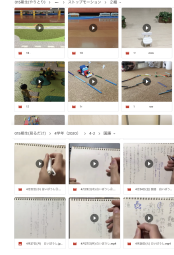
Google Classroom

- ・連絡 (連絡帳の代わり)
- ・課題の配信と提出
- ・アンケート



Google Drive

- ・作品の提出
- ・zoomでの授業動画を配信
- ・課題の配信 (体育や音楽)

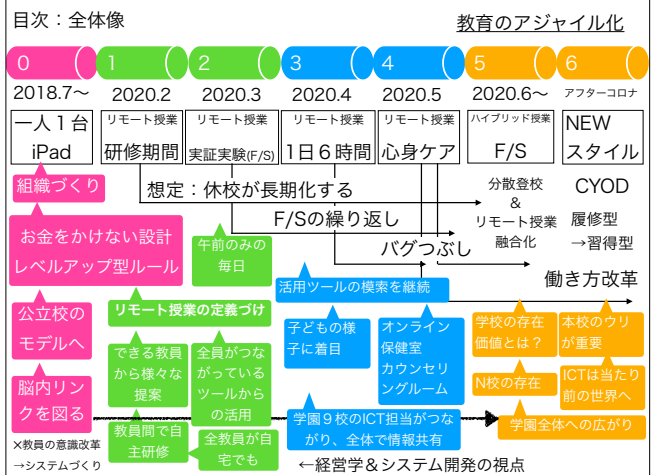


Evernote

- ・手紙
- ・学級通信
- ・学級日誌



34



36

1人1台iPad

全学年一斉導入

0 2018.7~
一人1台 iPad

- ・2017.1学期 システム決定 教員1人1台体制
- ・2017.2学期 貸出機による1人1台授業検証
- ・教材、使用アプリ決定
- ・2018.3学期 教育情報セキュリティ研修 等
- ・2018.7月 全学年一斉 導入

38

レベルアップ型ルール

カード名	できること (MDM)	スキル	モラル	ランクアップ条件
グリーン	<ul style="list-style-type: none"> カメラ撮影 スクリーンショット パスコード解除 スクリーンタイム Safari App 4+ コンテンツ・フィルタ 	<ul style="list-style-type: none"> カメラ撮影 (撮影、削除) 写真アプリ (紐く) 文字入力 (入力切り替え、ローマ字：1分間に5文字程度) キーボードから目的のWebページを検索できる インターネットのルールやマナーを理解し、実践できる 学習で使用するアプリを使いこなす パスワード・パスコード 	<ul style="list-style-type: none"> 授業でのふるまい 家でのふるまい (保護者チェック) ランドセル管理 傘下校使用しない 休み時間使用しない 学習に関係のある場合のみ休校時間使用 ※ただし、先生に許可をもらい「iPad使用許可証」を首からかけていればOK よい活用 3例 (最低可) 学習アプリのみ活用 	<ul style="list-style-type: none"> すべてチェックが入ること 期間：1ヶ月ごと 実証評価 -友だちのよいところを見つけ 自己評価 -友だちのよいところをみつけたら、自分も頑張ろう -悪いことをしてしまったり、迷惑行為をした場合は、自分自身で反省し、改善がみられるまで、自己評価を下げ、自分自身で気づいた場合は、即グリーンのまま 最終評価
ブルー	<ul style="list-style-type: none"> AirDrop Apple Books パスコード解除 AppPrint ロック画面に表示 App 12+ コンテンツ・フィルタ ランニング・コンテキストに入ることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ローマ字入力 (ローマ字：1分間に20文字程度) アプリアイコンタッチ インターネットのルールやマナーを理解し、実践できる Evernote Everyone Can Create (スナッチ) Everyone Can Create (写真) 調べ学習で専門分野の資料 	<ul style="list-style-type: none"> 授業でのふるまい 家でのふるまい (保護者チェック) 書き上げにしないし管理 傘下校使用しない 学習に関係のある場合のみ休校時間使用 ※ただし、先生に許可をもらい「iPad使用許可証」を首からかけていればOK よい活用 1つのBook作成→読書 学習アプリのみ活用 	<ul style="list-style-type: none"> すべてチェックが入ること 期間：1ヶ月ごと 実証評価 -友だちのよいところをみつけたら、自分も頑張ろう -悪いことをしてしまったり、迷惑行為をした場合は、自分自身で反省し、改善がみられるまで、自己評価を下げ、自分自身で気づいた場合は、即ブルーのまま 最終評価

環境整備だけでなく運用面も

保護者ポータルサイトより閲覧可

40

レベルアップ型ルール

自由度アップ

ゴールド

ブルー

グリーン

.....

イエロー

レッド

自由度 なし

<チェック方法>
 ○スキル (チェックテスト及び制作物)
 ○モラル (自己・他者・教師・保護者)

基本：勝手に使用はなし
 休み時間・登下校：使用不可
 ブルー：ラーニング・ commons で自由使用可
 グリーン：先生の許可をもらい首掛けつけて可

スクリーンタイムの設定による制限
 ●学校外では必要なアプリのみ
 ●日常生活すべて必要なアプリのみ

<特別カード>
 ●別指導へ
 →依存傾向、
 自己コントロール強化等

41

F/S：教師からのフィードバック

真に子どもの側に立ち、そして鍛える！

- ・ 3月と4月以降とでは反応が全く違う
 →リアルな意義：学級づくりに時間をかけたい
- ・ オンラインでのマナーの習得
 →優しい想像力
- ・ 学びをとめない＝履修主義（教師の発想）？
 →習得主義へ

43

第5フェーズ

リアルな学校の存在価値を問う

5
2020.6～
ハイブリッド授業
F/S

- ・ 分散登校 or 一斉登校 etc. 何でも対応できるように準備
- ・ 実際に出会う場での授業内容の精選
- ・ ハイブリッド授業の構築
- ・ N高の存在からみるリアルな学校の存在価値は？
- ・ 教師の役割について
- ・ 真に学ぶ場の提供へ

45

教育のアップデート

発展型分業化&アジャイル化

だれも悪くない
↓
システムが悪い

働き方改革

経営学
経営戦略
中・長期計画
組織づくり
頭・心・体
危機管理

システム開発
F/S (フィジビリ)
バグつぶし

教育システム改革

アップデート

完璧からの脱出
最低限からスタート
できる一歩から始め、
修正していく

教員の多業務を解消し、それぞれの特質によりプロフェッショナルな分業化へ

47

F/S：一日6時間授業について

まじめな子ほど・・・

●多い
●ちょうどいい
●少ない

高学年

51.5%
38.2%

低学年

41.9%
53.2%

保護者

73.9%
22.7%

塾のズームや課題があるから。
普通の授業と同じような時間で勉強が出来るから。

友だちと、あそんだりしゃべったりするのがあまりないから、ずっとべんぎようしているかんじがする。
ひるまはみんなといたいから

☆オンライン保健室入室者：数名
→意外とタフ？！

☆授業中、○○○する子も・・・

42

リモート授業とは

自宅で学校と同様の内容の学習ができる

オンラインでの対面のやりとりが必須ではない。
 全教科毎時間、その時間内にできる課題を設定し、それらの課題を達成することで授業を受けたことになっている。
※平等ではなく、公平を保つ

↓

履修主義ではなく、習得主義へ

44

第6フェーズ

本校のウリを最大限に活かす！

6
アフターコロナ
NEW
スタイル

- ・ 体験型教育の意義
- ・ 鉛筆や消しゴムと同様に、一人1台どころか教育におけるICT活用と話題にならなくなる世界
- ・ 教師の多忙感をなくす：多岐にわたる仕事内容を1本化
- ・ 担任業務（全員が同じ経験知をもつ）→特質により分業へ
- ・ 40、50の生き残る道【学習系】教科指導部門
 【研修系】研修部門（分業化へのステップ）
 【心理系】生徒指導部門・保護者対応部門
 【経営系】学校経営部門

46

【教育家庭新聞社 セミナー】

ICT整備とオンラン授業実現のポイント

リモート授業の構築と実際

Session 2

教員間の連携も密に 毎日6時間リモート授業

2020.05.21 学校法人佐藤栄学園 さとえ学園小学校
 山中 昭岳 y_aki@satoe.ed.jp

48